

## 放射性物質が内蔵された検出器部品の所在不明について

平成 28 年 5 月 17 日  
エヌエス環境株式会社

当社は、平成 28 年 5 月 16 日、密封線源（ニッケル 63）が内蔵されたガスクロマトグラフの検出器部品の所在不明について、放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律に基づき原子力規制庁及び埼玉県越谷警察署に届け出を行いました。

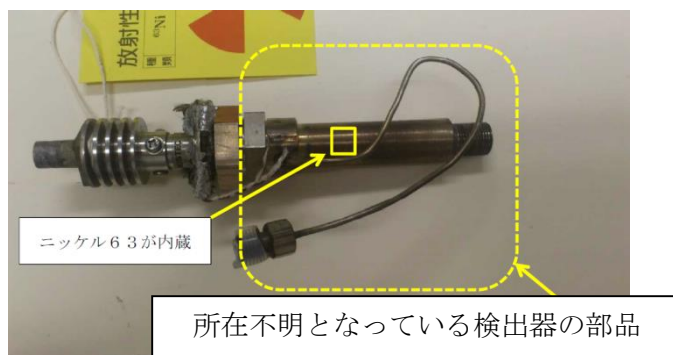
記

### 1. 所在不明の放射性同位元素について

- ・放射性同位体元素の核種：  
ニッケル 63 (370 MBq)
- ・放射性同位体元素が内蔵されていた機器：  
ガスクロマトグラフ検出器（気体中の特定のガスの濃度を測る装置）＜下図参照＞
- ・放射性同位体元素の格納部品の形態：  
検出器の部品（直径約 16mm×長さ約 100 mm）＜下図参照＞
- ・機器が設置されていた場所：  
エヌエス環境株式会社東京支社東京分析センター  
埼玉県越谷市伊原 1-4-7
- ・人体への影響：  
密封された線源から 1 メートル離れた場所での線量率の評価値は、バックグラウンド程度であり人体への放射線障害のおそれはありません。



ガスクロマトグラフ



ガスクロマトグラフ検出器

### 2. 当該部品の捜索について

当社では当該部品の捜索を存在の可能性ある場所等で行っておりますが、発見された方は、直接お手を触れずに、最寄りの警察署または下記の電話番号に御連絡頂きます様、御願い申し上げます。

担当窓口：

- ・エヌエス環境株式会社 営業企画本部 電話：03-5405-1241

この度は、地域の皆様方、また関係者に多大なる御心配をおかけしますこと、お詫び申し上げます。当社では、鋭意捜索に取り組むとともに、事故の原因究明と再発防止策を講じます。

以上